

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日 2 0 0 3 年 4 月 2 4 日
Date of Application:

出 願 番 号 特 願 2 0 0 3 - 1 1 9 3 7 8
Application Number:

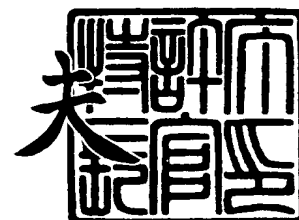
[ST. 10/C]: [J P 2 0 0 3 - 1 1 9 3 7 8]

出 願 人 コニカミノルタフォトイメージング株式会社
Applicant(s):

2 0 0 4 年 2 月 1 6 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今 井 康 夫



【書類名】 特許願

【整理番号】 DTW01935

【提出日】 平成15年 4月24日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 H04N 17/60

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都日野市さくら町 1 番地 コニカフォトイメージン
 グ株式会社内

 【氏名】 村田 真二

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都日野市さくら町 1 番地 コニカフォトイメージン
 グ株式会社内

 【氏名】 佐藤 俊也

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都日野市さくら町 1 番地 コニカフォトイメージン
 グ株式会社内

 【氏名】 萩原 茂枝子

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都日野市さくら町 1 番地 コニカフォトイメージン
 グ株式会社内

 【氏名】 田村 知章

【特許出願人】

 【識別番号】 303000419

 【氏名又は名称】 コニカフォトイメージング株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100081709

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 鶴若 俊雄

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 014524

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 0304861

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 受発注システム及び受発注方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ネットワークと、

前記ネットワークに接続され、デザイン決定情報を入力し、デザインに用いる画像を配信して前記デザイン注文を行なうユーザ端末と、

前記ネットワークに接続され、受発注サーバを介して前記デザイン注文の受付、前記デザイン注文に基づきデザイン作成作業の発注及び受発注管理を行なう受発注管理者端末と、

前記ネットワークに接続され、前記デザイン作成作業の発注に基づきデザイン作成を行なう作業者端末と、を有する受発注システムにおいて、

前記受発注サーバを介して前記ユーザ端末と、前記受発注管理者端末と、前記作業者端末との間で e メールを発行し、この発行 eメールの eメールタイトルに少なくとも進捗管理情報と注文番号とを付けることを特徴とする受発注システム。

【請求項 2】 前記 eメールタイトルに、前記進捗管理情報と前記注文番号に加えて、ユーザ名、作業完了日時とを付けることを特徴とする請求項 1 に記載の受発注システム。

【請求項 3】 前記作業完了日時は、前記受発注サーバの時計機能により発生することを特徴とする請求項 2 に記載の受発注システム。

【請求項 4】 前記受発注管理者端末の eメール管理画面では、前記進捗管理情報を先頭にして前記 eメールタイトルを表示することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか 1 項に記載の受発注システム。

【請求項 5】 前記作業者端末の eメール管理画面では、前記注文番号を先頭にして前記 eメールタイトルを表示することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか 1 項に記載の受発注システム。

【請求項 6】 前記ユーザ端末の eメール管理画面では、前記進捗管理情報を先頭にして前記 eメールタイトルを表示することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか 1 項に記載の受発注システム。

【請求項 7】前記 e メール発行時に、送信先が前記作業者端末の場合は、前記注文番号を先頭にした前記 e メールタイトルで送信することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 6 のいずれか 1 項に記載の受発注システム。

【請求項 8】前記 e メール発行時に、送信先が前記受発注管理者端末の場合は、前記進捗管理情報を先頭にした前記 e メールタイトルで送信することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 6 のいずれか 1 項に記載の受発注システム。

【請求項 9】前記 e メール発行時に、送信先が前記ユーザ端末の場合は、前記進捗管理情報を先頭にした前記 e メールタイトルで送信することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 6 のいずれか 1 項に記載の受発注システム。

【請求項 10】前記ユーザ端末への e メールタイトルには、送信先の敬語を付けることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の受発注システム。

【請求項 11】前記進捗管理情報が、記号であることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 10 のいずれか 1 項に記載の受発注システム。

【請求項 12】前記発行 e メールに対する返信 e メールを受信すると、警告 e メールを発信端末に送信することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 11 のいずれか 1 項に記載の受発注システム。

【請求項 13】前記発行 e メールに対する返信 e メールに添付ファイルがあると、警告 e メールを発信端末に送信することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 11 のいずれか 1 項に記載の受発注システム。

【請求項 14】ユーザ端末でデザイン決定情報を入力し、デザインに用いる画像を配信してデザイン注文を行ない、受発注管理者端末では受発注サーバを介してデザイン注文の受付、デザイン注文に基づきデザイン作成作業の発注及び受発注管理を行ない、作業者端末ではデザイン作成作業の発注に基づきデザイン作成を行なう受発注方法において、

前記受発注サーバを介して前記ユーザ端末と、前記受発注管理者端末と、前記作業者端末との間で e メールを発行し、この発行 eメールの e メールタイトルに少なくとも進捗管理情報と注文番号とを付けることを特徴とする受発注方法。

【請求項 15】前記 e メールタイトルに、前記進捗管理情報と前記注文番

号に加えて、ユーザ名、作業完了日時とを付けることを特徴とする請求項 14 に記載の受発注方法。

【請求項 16】前記作業完了日時は、前記受発注サーバの時計機能により発生することを特徴とする請求項 14 または請求項 15 に記載の受発注方法。

【請求項 17】前記受発注管理者端末の e メール管理画面では、前記進捗管理情報を先頭にして前記 e メールタイトルを表示することを特徴とする請求項 14 乃至請求項 16 のいずれか 1 項に記載の受発注方法。

【請求項 18】前記作業者端末の e メール管理画面では、前記注文番号を先頭にして前記 e メールタイトルを表示することを特徴とする請求項 14 乃至請求項 16 のいずれか 1 項に記載の受発注方法。

【請求項 19】前記ユーザ端末の e メール管理画面では、前記進捗管理情報を先頭にして前記 e メールタイトルを表示することを特徴とする請求項 14 乃至請求項 16 のいずれか 1 項に記載の受発注方法。

【請求項 20】前記 e メール発行時に、送信先が前記作業者端末の場合は、前記注文番号を先頭にした前記 e メールタイトルで送信することを特徴とする請求項 14 乃至請求項 19 のいずれか 1 項に記載の受発注方法。

【請求項 21】前記 e メール発行時に、送信先が前記受発注管理者端末の場合は、前記進捗管理情報を先頭にした前記 e メールタイトルで送信することを特徴とする請求項 14 乃至請求項 19 のいずれか 1 項に記載の受発注方法。

【請求項 22】前記 e メール発行時に、送信先が前記ユーザ端末の場合は、前記進捗管理情報を先頭にした前記 e メールタイトルで送信することを特徴とする請求項 14 乃至請求項 19 のいずれか 1 項に記載の受発注方法。

【請求項 23】前記ユーザ端末への e メールタイトルには、送信先の敬語を付けることを特徴とする請求項 14 または請求項 15 に記載の受発注方法。

【請求項 24】前記進捗管理情報が、記号であることを特徴とする請求項 14 乃至請求項 23 のいずれか 1 項に記載の受発注方法。

【請求項 25】前記発行 e メールに対する返信 e メールを受信すると、警告 e メールを発信端末に送信することを特徴とする請求項 14 乃至請求項 24 のいずれか 1 項に記載の受発注方法。

【請求項 2 6】前記発行 e メールに対する返信 e メールに添付ファイルがあると、警告 e メールを発信端末に送信することの特徴とする請求項 1 4 乃至請求項 2 4 のいずれか 1 項に記載の受発注方法。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

この発明は、例えば写真画像を入れたポストカード等のデザインを作成するサービスをインターネットなどのネットワークを介してユーザ（顧客）に提供する受発注システム及び受発注方法に関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

近年、ユーザ（顧客）は、結婚後の挨拶や年賀の挨拶等を写真画像を入れたポストカードで行なうことが多くなってきている。また、写真画像入りの名刺なども多くなってきている。この写真画像入りのポストカードや名刺等の作成注文を、インターネットなど介して行なうネットワークビジネスが提案されている（例えば特許文献 1）。

【0 0 0 3】

この場合、ポストカードの注文時に、ユーザ（顧客）はポストカードのデザインを例えば規定のレイアウトを選択し、あるいは独自の写真画像の位置や文字情報位置等のレイアウトを決める。文字情報としては、例えば住所、氏名、挨拶文等の文字情報を入力する。写真画像は、一枚の場合、あるいは複数枚と合成する場合等があり、これらの写真画像を送り、そのデザインを指示する。また、写真画像から不要な背景等の削除や赤目除去等の修正の指示を行なう場合がある。

【0 0 0 4】

このようなユーザ（顧客）からのデザイン注文に基づき、画像プリントサービスを行う出力センター等では、デザイナー等の作業者にデザイン作成作業の発注を行ない、デザイン作成作業が終了すると、ユーザ（顧客）からのデザイン注文と確認してプリントアウトしてユーザ（顧客）へ送るようになっている。

【0 0 0 5】

【特許文献 1】

特開 2 0 0 2 - 1 4 9 7 9 3 号公報（第 1 ～ 8 頁、図 1 ～ 図 1 0）

【0 0 0 6】**【発明が解決しようとする課題】**

ところで、画像プリントサービスを行う出力センター等では、デザイン注文をデザイナー等の作業者に振り分けて発注し、デザイン作成作業が完了すると、デザイン作成が注文通りであるかを確認し、デザイン作成作業に修正を指示することもあり、また例えば作業側で作業が進んでいなくて在庫を多く有している場合には催促することがある。

【0 0 0 7】

これらの連絡に e メールが用いられているが、出力センターの端末に表示される e メール管理画面では、例えば図 2 2 に示すように、e メールタイトルに明確な決まりがなく、一見して e メールタイトルから送信内容の概略を理解することが困難で、管理ができなくなっている。

【0 0 0 8】

この発明は、このような課題に鑑みてなされたのものであって、e メールタイトルからデザインの受発注管理を容易に行なうことが可能な受発注システム及び受発注方法を提供することを目的としている。

【0 0 0 9】**【課題を解決するための手段】**

前記課題を解決し、かつ目的を達成するために、この発明は、以下のように構成した。

【0 0 1 0】

請求項 1 に記載の発明は、ネットワークと、

前記ネットワークに接続され、デザイン決定情報を入力し、デザインに用いる画像を配信して前記デザイン注文を行なうユーザ端末と、

前記ネットワークに接続され、受発注サーバを介して前記デザイン注文の受付、前記デザイン注文に基づきデザイン作成作業の発注及び受発注管理を行なう受発注管理者端末と、

前記ネットワークに接続され、前記デザイン作成作業の発注に基づきデザイン作成を行なう作業者端末と、を有する受発注システムにおいて、

前記受発注サーバを介して前記ユーザ端末と、前記受発注管理者端末と、前記作業者端末との間で e メールを発行し、この発行 eメールの eメールタイトルに少なくとも進捗管理情報と注文番号とを付けることを特徴とする受発注システムである。

【0011】

この請求項 1 に記載の発明によれば、受発注サーバを介してユーザ端末と、受発注管理者端末と、作業者端末との間で e メールを発行するが、この発行 eメールの eメールタイトルに少なくとも進捗管理情報と注文番号とを付けることで、一見して eメールタイトルから送信内容の概略を理解することが可能で、eメールタイトルからデザインの受発注管理を容易に行なうことができる。

【0012】

請求項 2 に記載の発明は、前記 eメールタイトルに、前記進捗管理情報と前記注文番号に加えて、ユーザ名、作業完了日時とを付けることを特徴とする請求項 1 に記載の受発注システムである。

【0013】

この請求項 2 に記載の発明によれば、eメールタイトルに、進捗管理情報と注文番号に加えて、ユーザ名、作業完了日時とを付けることで、一見して eメールタイトルから送信内容の概略をより一層理解することが可能で、eメールタイトルからデザインの受発注管理を容易に行なうことができる。

【0014】

請求項 3 に記載の発明は、前記作業完了日時は、前記受発注サーバの時計機能により発生することを特徴とする請求項 2 に記載の受発注システムである。

【0015】

この請求項 3 に記載の発明によれば、作業完了日時は、人為的に操作できないことにすることで安全に運用できる。受発注サーバの時計とすることで、整合性がとれ、複数の時計を参照すると時間順で整合がとれない。

【0016】

請求項 4 に記載の発明は、前記受発注管理者端末の e メール管理画面では、前記進捗管理情報を先頭にして前記 e メールタイトルを表示することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか 1 項に記載の受発注システムである。

【0017】

この請求項 4 に記載の発明によれば、e メール管理画面では、進捗管理情報を先頭にして e メールタイトルを表示することで、受発注管理者が進捗管理情報の表示から進捗状況を容易に把握できる。

【0018】

請求項 5 に記載の発明は、前記作業者端末の e メール管理画面では、前記注文番号を先頭にして前記 e メールタイトルを表示することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか 1 項に記載の受発注システムである。

【0019】

この請求項 5 に記載の発明によれば、e メール管理画面では、注文番号を先頭にして e メールタイトルを表示することで、作業者が注文番号の表示から進捗状況を容易に把握できる。

【0020】

請求項 6 に記載の発明は、前記ユーザ端末の e メール管理画面では、前記進捗管理情報を先頭にして前記 e メールタイトルを表示することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか 1 項に記載の受発注システムである。

【0021】

この請求項 6 に記載の発明によれば、e メール管理画面では、進捗管理情報を先頭にして e メールタイトルを表示することで、ユーザが進捗管理情報の表示から進捗状況を容易に把握できる。

【0022】

請求項 7 に記載の発明は、前記 e メール発行時に、送信先が前記作業者端末の場合は、前記注文番号を先頭にした前記 e メールタイトルで送信することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 6 のいずれか 1 項に記載の受発注システムである。

【0023】

この請求項 7 に記載の発明によれば、e メール発行時に、送信先が作業者端末の場合は、注文番号を先頭にした e メールタイトルで送信することで、受信した作業者が注文番号から進捗状況を容易に把握でき、作業者側での管理が容易になる。

【 0 0 2 4 】

請求項 8 に記載の発明は、前記 e メール発行時に、送信先が前記受発注管理者端末の場合は、前記進捗管理情報を先頭にした前記 e メールタイトルで送信することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 6 のいずれか 1 項に記載の受発注システムである。

【 0 0 2 5 】

この請求項 8 に記載の発明によれば、e メール発行時に、送信先が受発注管理者端末の場合は、進捗管理情報を先頭にした e メールタイトルで送信することで、受信した受発注管理者が進捗管理情報から進捗状況を容易に把握でき、受発注管理者側での管理が容易になる。

【 0 0 2 6 】

請求項 9 に記載の発明は、前記 e メール発行時に、送信先が前記ユーザ端末の場合は、前記進捗管理情報を先頭にした前記 e メールタイトルで送信することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 6 のいずれか 1 項に記載の受発注システムである。

【 0 0 2 7 】

この請求項 9 に記載の発明によれば、e メール発行時に、送信先がユーザ端末の場合は、進捗管理情報を先頭にした e メールタイトルで送信することで、受信したユーザが進捗管理情報から進捗状況を容易に把握でき、ユーザ側での管理が容易になる。

【 0 0 2 8 】

請求項 1 0 に記載の発明は、前記ユーザ端末への e メールタイトルには、送信先の敬語を付けることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の受発注システムである。

【 0 0 2 9 】

この請求項 10 に記載の発明によれば、ユーザ端末への e メールタイトルには、送信先の敬語を付けることで、ユーザへの親切かつ良好な印象を与える e メールタイトルとなる。

【0030】

請求項 11 に記載の発明は、前記進捗管理情報が、記号であることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 10 のいずれか 1 項に記載の受発注システムである。

【0031】

この請求項 11 に記載の発明によれば、進捗管理情報が、記号であることで、特に表示部の容量が制限される携帯端末への e メールタイトルとなる。

【0032】

請求項 12 に記載の発明は、前記発行 e メールに対する返信 e メールを受信すると、警告 e メールを発信端末に送信することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 11 のいずれか 1 項に記載の受発注システムである。

【0033】

この請求項 12 に記載の発明によれば、発行 e メールに対する返信 e メールを受信すると、警告 e メールを発信端末に送信することで、規格にあった e メールのみ受信して e メールタイトルの管理を行なうことができる。

【0034】

請求項 13 に記載の発明は、前記発行 e メールに対する返信 e メールに添付ファイルがあると、警告 e メールを発信端末に送信することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 11 のいずれか 1 項に記載の受発注システムである。

【0035】

この請求項 13 に記載の発明によれば、発行 e メールに対する返信 e メールに添付ファイルがあると、警告 e メールを発信端末に送信することで、規格にあった e メールのみ受信して e メールタイトルの管理を行なうことができる。

【0036】

請求項 14 に記載の発明は、ユーザ端末でデザイン決定情報を入力し、デザインに用いる画像を配信してデザイン注文を行ない、受発注管理者端末では受発注

サーバを介してデザイン注文の受付、デザイン注文に基づきデザイン作成作業の発注及び受発注管理を行ない、作業端末ではデザイン作成作業の発注に基づきデザイン作成を行なう受発注方法において、

前記受発注サーバを介して前記ユーザ端末と、前記受発注管理者端末と、前記作業端末との間で e メールを発行し、この発行 eメールの eメールタイトルに少なくとも進捗管理情報と注文番号とを付けることを特徴とする受発注方法である。

【0037】

この請求項 14 に記載の発明によれば、受発注サーバを介してユーザ端末と、受発注管理者端末と、作業端末との間で e メールを発行するが、この発行 eメールの eメールタイトルに少なくとも進捗管理情報と注文番号とを付けることで、一見して eメールタイトルから送信内容の概略を理解することが可能で、eメールタイトルからデザインの受発注管理を容易に行なうことができる。

【0038】

請求項 15 に記載の発明は、前記 eメールタイトルに、前記進捗管理情報と前記注文番号に加えて、ユーザ名、作業完了日時とを付けることを特徴とする請求項 14 に記載の受発注方法である。

【0039】

この請求項 15 に記載の発明によれば、eメールタイトルに、進捗管理情報と注文番号に加えて、ユーザ名、作業完了日時とを付けることで、一見して eメールタイトルから送信内容の概略をより一層理解することが可能で、eメールタイトルからデザインの受発注管理を容易に行なうことができる。

【0040】

請求項 16 に記載の発明は、前記作業完了日時は、前記受発注サーバの時計機能により発生することを特徴とする請求項 14 または請求項 15 に記載の受発注方法である。

【0041】

この請求項 16 に記載の発明によれば、作業完了日時は、人為的に操作できな

いことにすることで安全に運用できる。受発注サーバの時計とすることで、整合性がとれ、複数の時計を参照すると時間順で整合がとれない。

【0 0 4 2】

請求項 1 7 に記載の発明は、前記受発注管理者端末の e メール管理画面では、前記進捗管理情報を先頭にして前記 e メールタイトルを表示することを特徴とする請求項 1 4 乃至請求項 1 6 のいずれか 1 項に記載の受発注方法である。

【0 0 4 3】

この請求項 1 7 に記載の発明によれば、e メール管理画面では、進捗管理情報を先頭にして e メールタイトルを表示することで、受発注管理者が進捗管理情報の表示から進捗状況を容易に把握できる。

【0 0 4 4】

請求項 1 8 に記載の発明は、前記作業者端末の e メール管理画面では、前記注文番号を先頭にして前記 e メールタイトルを表示することを特徴とする請求項 1 4 乃至請求項 1 6 のいずれか 1 項に記載の受発注方法である。

【0 0 4 5】

この請求項 1 8 に記載の発明によれば、e メール管理画面では、注文番号を先頭にして e メールタイトルを表示することで、作業者が注文番号の表示から進捗状況を容易に把握できる。

【0 0 4 6】

請求項 1 9 に記載の発明は、前記ユーザ端末の e メール管理画面では、前記進捗管理情報を先頭にして前記 e メールタイトルを表示することを特徴とする請求項 1 4 乃至請求項 1 6 のいずれか 1 項に記載の受発注方法である。

【0 0 4 7】

この請求項 1 9 に記載の発明によれば、e メール管理画面では、進捗管理情報を先頭にして e メールタイトルを表示することで、ユーザが進捗管理情報の表示から進捗状況を容易に把握できる。

【0 0 4 8】

請求項 2 0 に記載の発明は、前記 e メール発行時に、送信先が前記作業者端末の場合は、前記注文番号を先頭にした前記 e メールタイトルで送信すること

を特徴とする請求項 1 4 乃至請求項 1 9 のいずれか 1 項に記載の受発注方法である。

【0 0 4 9】

この請求項 2 0 に記載の発明によれば、e メール発行時に、送信先が作業者端末の場合は、注文番号を先頭にした e メールタイトルで送信することで、受信した作業者が注文番号から進捗状況を容易に把握でき、作業者側での管理が容易になる。

【0 0 5 0】

請求項 2 1 に記載の発明は、前記 e メール発行時に、送信先が前記受発注管理者端末の場合は、前記進捗管理情報を先頭にした前記 e メールタイトルで送信することを特徴とする請求項 1 4 乃至請求項 1 9 のいずれか 1 項に記載の受発注方法である。

【0 0 5 1】

この請求項 2 1 に記載の発明によれば、e メール発行時に、送信先が受発注管理者端末の場合は、進捗管理情報を先頭にした e メールタイトルで送信することで、受信した受発注管理者が進捗管理情報から進捗状況を容易に把握でき、受発注管理者側での管理が容易になる。

【0 0 5 2】

請求項 2 2 に記載の発明は、前記 e メール発行時に、送信先が前記ユーザ端末の場合は、前記進捗管理情報を先頭にした前記 e メールタイトルで送信することを特徴とする請求項 1 4 乃至請求項 1 9 のいずれか 1 項に記載の受発注方法である。

【0 0 5 3】

この請求項 2 2 に記載の発明によれば、e メール発行時に、送信先がユーザ端末の場合は、進捗管理情報を先頭にした e メールタイトルで送信することで、受信したユーザが進捗管理情報から進捗状況を容易に把握でき、ユーザ側での管理が容易になる。

【0 0 5 4】

請求項 2 3 に記載の発明は、前記ユーザ端末への e メールタイトルには、送

信先の敬語を付けることを特徴とする請求項 1 4 または請求項 1 5 に記載の受発注方法である。

【0 0 5 5】

この請求項 2 3 に記載の発明によれば、ユーザ端末への e メールタイトルには、送信先の敬語を付けることで、ユーザへの親切かつ良好な印象を与える e メールタイトルとなる。

【0 0 5 6】

請求項 2 4 に記載の発明は、前記進捗管理情報が、記号であることを特徴とする請求項 1 4 乃至請求項 2 3 のいずれか 1 項に記載の受発注方法である。

【0 0 5 7】

この請求項 2 4 に記載の発明によれば、進捗管理情報が、記号であることで、特に表示部の容量が制限される携帯端末への e メールタイトルとなる。

【0 0 5 8】

請求項 2 5 に記載の発明は、前記発行 e メールに対する返信 e メールを受信すると、警告 e メールを発信端末に送信することを特徴とする請求項 1 4 乃至請求項 2 4 のいずれか 1 項に記載の受発注方法である。

【0 0 5 9】

この請求項 2 5 に記載の発明によれば、発行 e メールに対する返信 e メールを受信すると、警告 e メールを発信端末に送信することで、規格にあった e メールのみ受信して e メールタイトルの管理を行なうことができる。

【0 0 6 0】

請求項 2 6 に記載の発明は、前記発行 e メールに対する返信 e メールに添付ファイルがあると、警告 e メールを発信端末に送信することを特徴とする請求項 1 4 乃至請求項 2 4 のいずれか 1 項に記載の受発注方法である。

【0 0 6 1】

この請求項 2 6 に記載の発明によれば、発行 e メールに対する返信 e メールに添付ファイルがあると、警告 e メールを発信端末に送信することで、規格にあった e メールのみ受信して e メールタイトルの管理を行なうことができる。

【0062】**【発明の実施の形態】**

以下、この発明の受発注システム及び受発注方法の実施の形態を図面に基づいて説明するが、この発明は、この実施の形態に限定されない。

【0063】

図1は受発注システムを示す図である。図1において、ネットワーク1に、受発注サーバ2、ユーザ端末3、作業者端末4、受発注管理者端末5が接続され、それぞれネットワーク1を介して通信可能となっている。

【0064】

ネットワーク1は、コンピュータ・システム、端末、データ通信設備を相互に接続したものをいう。接続は専用回線、公衆回線のような有線で接続されていても良いし、通信衛星などを通じて無線で接続されていてもよいし、それらの複合形態で接続されていても良い。いわゆるインターネットなどもネットワークに含まれる。

【0065】

受発注サーバ2は、ネットワーク1を介し、デザイン注文の受付、デザイン注文に基づきデザイン作成作業の発注及び受発注管理を行なうと共に、デザインに用いる画像閲覧、画像保管、顧客情報管理など、ネットワーク画像サービスを提供可能な機能を有する。

【0066】

ユーザ端末3は、パーソナルコンピュータ、携帯情報端末（PDA）、携帯電話等で文字情報と画像情報の送受信が可能な電子機器端末であればよい。パーソナルコンピュータや携帯情報端末（PDA）では、デジタルカメラと接続したり、画像を記録した記録媒体をセットして画像の取り込みを行ない、またスキャナ等から画像の取り込みを行なうことができる。デジタルカメラを備える携帯電話では、デジタルカメラの撮像で画像の取り込みを行なうことができ、デジタルカメラを備えない携帯電話では、他の電子機器からの通信により画像を受信して画像の取り込みを行なうことができる。

【0067】

このユーザ端末 3 では、デザイン決定情報を入力し、デザインに用いる画像を配信してデザイン注文を行なう。デザイン決定情報として、例えばデザインのレイアウトの特定番号、コメント内容、デザイン面に記載する個人情報等である。例えばデザインのレイアウトのパターンが予め複数種類準備されており、特定番号によって特定するが、ユーザ（顧客）が自由にレイアウトするようにしてもよい。また、デザインに用いる画像として、写真画像、イラスト画像等であり、1 枚でも、複数枚でも良い。

【 0 0 6 8 】

受発注管理者端末 5 は、受発注サーバ 2 を介してデザイン注文の受付、デザイン注文に基づきデザイン作成作業の発注及び受発注管理を行なうと共に、デザイン注文の作業者へのデザイン振り分け画面を有する。

【 0 0 6 9 】

作業者端末 4 は、店舗等に配置され、画像編集画面上でのデザイン作成作業の発注に基づきデザイン作成作業を行なう。店舗とは、デザイン作成作業の画像加工や画像修正、例えば画像から背景等の不要物の除去、赤目修正等ができる画像形成装置を備えた、例えばラボのようなものを言うがこれに限られない。

【 0 0 7 0 】

次に、図 2 及び図 3 に基づいて受発注方法を説明する。図 2 は受発注方法を実行するフローチャート、図 3 はユーザ端末側、受発注管理者端末側、作業者端末側、受発注サーバ側間の情報の授受を示す図である。

【 0 0 7 1 】

ユーザは、ユーザ端末 3 のブラウザソフトを立ち上げ（S 1）、デザイン注文サイトにアクセスする（S 2）。ユーザ端末 3 からユーザ ID を入力して受発注サーバ 2 へ送り、受発注サーバ 2 では予め登録されたユーザ ID と照合して個人のユーザ認証を行なう（S 3）。

【 0 0 7 2 】

ユーザ端末 3 では、受発注サーバ 2 からのユーザ認証を受け取り、デザイン注文情報の入力し、デザイン決定情報を入力し、デザインに用いる画像を配信を行なう（S 4）。

【 0 0 7 3 】

このデザイン注文が予め規定されたレイアウト等でないユーザ（顧客）が自由にレイアウトした特殊注文であるか否かの判断を行ない（S 5）、特殊注文の場合は、受発注管理者は、受発注管理者端末 5 から受発注サーバ 2 を介して特殊注文見積もりを行ない（S 6）、規格のデザインのレイアウトの場合は、通常注文見積もりが行なわれる（S 7）。

【 0 0 7 4 】

ユーザ端末 3 では、見積もりとデザイン注文の確認を行なう表示画面を閲覧可能であり（S 8）、見積金額とデザイン注文の確認を行なう（S 9）。問題がない場合はデザイン注文すると（S 1 0）、受発注管理者端末 5 から受発注サーバ 2 を介して注文確認メールが配信される。

【 0 0 7 5 】

受発注管理者端末 5 では、受発注サーバ 2 を介してデザイン注文の受付及び受発注管理を行い、デザイン作成作業の振り分けを行なわない場合は（S 1 1）、作業者端末 4 へ注文受付メールを送る。作業者が作業者端末 4 から作業者画面へアクセスすることでデザイン注文に基づきデザイン作成作業の発注を行なう（S 1 2）。

【 0 0 7 6 】

作業者端末 4 から作業者画面上で、作業者は画像編集画面上でのデザイン注文に基づきデザイン作成作業を行なう（S 1 3）。

【 0 0 7 7 】

デザイン作成作業の振り分けを行なう場合は、デザイン注文で例えば、特殊注文、通常注文別に振り分け、あるいはデザインに用いる画像の不要物の除去、赤目除去等の画像加工の別に切り分けてデザイン作成作業の発注を行ない（S 1 4）。作業者端末 4 から作業者画面上で、作業者は画像編集画面上でのデザイン注文に基づきデザイン作成作業を行なう（S 1 5）。

【 0 0 7 8 】

デザイン作成作業が終了すると、作業者端末 4 から作成したデザイン画像を受発注サーバ 2 へ送信し、受発注管理者端末 5 の合成画面で切り分け画像を合成す

る（S 1 6）。

【0 0 7 9】

受発注管理者端末 5 では、作成されたデザイン画像の閲覧が可能であり（S 1 7）、デザイナー等が作成したデザインの仕上がりがユーザ（顧客）のデザイン注文の希望通りになっているか点検し、問題がある場合は校正する（S 1 8）。点検、校正が終了すると（S 1 9）、受発注管理者端末 5 から受発注サーバ 2 を介してデザイン作成終了確認メールがユーザ端末 3 へ配信される。ユーザ端末 3 では、デザイン作成終了確認メールを受け取り、作成されたデザイン画像の閲覧を行ない（S 2 0）、デザインが注文通り否かの確認を行なってプリント注文を行ない（S 2 1）、次工程へ移行して終了する（S 2 2）。プリント注文の画面では、ユーザアンケートを行なう。

【0 0 8 0】

ここで、次の工程とは、①ユーザ（顧客）からのプリント注文の受付、②プリント注文によってプリントを行ないユーザへ送付することである。

【0 0 8 1】

次に、図 4 乃至図 8 に基づいて、ユーザ端末 3 で行なうデザイン注文の実施の形態について説明する。

【0 0 8 2】

図 4 はデザイン選択画面を示し、このデザイン選択画面 2 1 で複数の規格のデザインレイアウトから希望するデザイン画像 2 1 a をクリックして特定する。例えば、特定番号 HW - 0 2 5 のデザインのレイアウトをクリックする。

【0 0 8 3】

図 5 は注文情報入力画面を示し、この注文情報入力画面 2 2 でカラーの欄 2 2 a、タイトルとフォントの欄 2 2 b、コメントの欄 2 2 c、個人情報の欄 2 2 d からカラー、タイトルとフォント、コメントの特定をクリックで行ない、あるいは自由にコメントを入力し、個人情報を入力する。

【0 0 8 4】

図 6 はデザイン決定画面を示し、このデザイン決定画面 2 6 では、図 4 のデザイン選択画面及び図 5 の注文情報入力画面で行なったデザイン決定情報の入力に

よるデザインが表示される。

【0085】

図7は画像のアップロード画面を示し、この画像のアップロード画面30で参照30aをクリックして画像のあるフォルダ30bを選択し、画像を指定して画像のアップロードを行なう。

【0086】

図8はデザインの見積もりと確認画面を示し、このデザインの見積もりと確認画面40では、作成するデザインの画像41、作成するデザインに用いる画像42、作成するデザインに用いる文字情報43、見積もり料金44、デザイン完成予定日45が表示される。

【0087】

ユーザ（顧客）は、このデザインの見積もりと確認画面40を見て確認し、希望通りで問題がなければデザイン注文を行なう。

【0088】

次に、図9乃至図14に基づいて、受発注管理者端末5で行なうデザインに用いる画像を表示の実施の形態について説明する。

【0089】

図9はデザイン作成作業の発注及び受発注管理画面のメニュー画面を示し、このメニュー画面50では、デザイン進行状況確認欄50a、振り分け欄50bがある。この振り分け欄50bをクリックすると、図10のデザイン振り分け画面51に切り替わる。このデザイン振り分け画面51の詳細欄51aをクリックすると、図11の注文詳細情報画面52に切り替わる。注文詳細情報画面52のデザイン情報（画像）の欄52aをクリックすると、図12のデザイン情報画面53が表示される。

【0090】

このデザイン情報画面53は、デザイン情報（文字）の欄53a、注文書の欄53b、顧客持ち込み画像の欄53cが表示される。

【0091】

この実施の形態の受発注管理者端末5は、デザイン注文の受付、デザイン注文

に基づきデザイン作成作業の発注及び受発注管理を行なうと共に、図10に示すデザイン注文の作業者へのデザイン振り分け画面51を有する。

【0092】

このデザイン振り分け画面51では、新規にデザイン注文51bがあると、この新規なデザイン注文51bを作業者一覧表51cから所定の作業者を選択51dして指定する。また、デザイン作成完了納期51e、デザインに関するコメント51fも記載される。

【0093】

作業者一覧表51cには、作業者の氏名51c1、作成中件数51c2、修正中件数51c3、作成中修正中合計件数51c4、評価51c5、平均修正回数51c6、詳細情報51c7等の欄が設けられ、各作業者に応じてデータが記載されている。

【0094】

詳細情報51c7をクリックすると、図13に示すスキル評価画面70が表示される。スキル評価画面70では、下記の項目等に関して統計的に自動設定及び客観的評価が行なわれる。

【0095】

自動設定する項目は、ソフト上から取得できる。

デザイナー評価項目	設定方法
作業状況（制作中）	自動
（修正中）	自動
平均納期	自動
修正回数（管理者）	自動
修正回数（ユーザー）	自動
修正内容（修正箇所の統計）	自動
デザイン当たり平均修正回数	自動
納期遅延回数	自動
デザイン評価	評価者設定
デザイン技術者自己評価（得意分野）	評価者設定

この各項目に重み付けをし総合評価を決定し、図 1 0 の評価 5 1 c 5 で表示をする。

【0 0 9 6】

平均納期及び作業状況により作業の負荷度を示し、これにより上位に表示されているデザイン技術者が最適な作業者となり作業の振り分けが容易となる。

【0 0 9 7】

さらに、過去の修正回数等から直近の内容を比較することによりそのデザイン技術者の技術の習熟傾向が明確にすることができ、総合評価に加味することができる。

【0 0 9 8】

特殊注文、通常注文等によるデザインの種類、難易度等を登録することにより、デザイン毎に最適なデザイン技術を有する作業者へ発注することも可能となる。

【0 0 9 9】

また、修正回数や納期及び納期遅延等が増加傾向の場合には、評価 5 1 c 5 の欄に警告マークを表示して受発注管理者及び作業者へ警告を発することができる。

【0 1 0 0】

このように受発注管理者端末 5 が、図 1 0 及び図 1 3 に示すように、デザイン注文の作業者へのデザイン振り分け画面 1 0 を有し、デザイン作成作業を行なう各作業者の作業状況を、作成中件数 5 1 c 2、修正中件数 5 1 c 3、作成中修正中合計件数 5 1 c 4 等で表示する。受発注管理者は、個々のデザインの作業者の作業状況を確認でき、大量のデザイン注文があっても、容易に速くデザイン作成作業を行なうことが可能な作業者へ発注することができる。

【0 1 0 1】

また、デザイン振り分け画面 5 1 は、デザイン作成作業を行なう各作業者のスキルを評価 5 1 c 5 として表示する。各作業者のスキルを表示することで、受発注管理者は、個々のデザインの作業者のスキルを確認でき、大量のデザイン注文があっても、容易にデザイン注文内容に応じた作業者へ発注することができる。

【0 1 0 2】

このスキルは、作成したデザインの修正回数、デザイン完成平均納期、デザイン完成納期遅れ回数、デザイン評価、ユーザアンケート内容の少なくともいずれか1つによって行なうことができる。このスキルにユーザアンケート内容を含むことで、ユーザの判断を考慮してスキルを確認でき、容易にデザイン注文内容に応じた作業員へ発注することができる。

【0 1 0 3】

また、受発注管理者端末 5 は、作業状況及びスキルの内容を表示する一覧表示画面 5 1 c を有することで、作業状況及びスキルの内容を同一画面上で確認でき、大量のデザイン注文があっても、容易にデザイン注文内容に応じた作業員へ発注することができる。

【0 1 0 4】

また、一覧表示画面 5 1 c は、作成したデザインの修正回数、デザイン完成平均納期、デザイン完成納期遅れ回数が基準以上になると、評価 5 1 c 5 の欄に警告マークを表示して警告表示を行なうことができ、容易に適切な作業員へ発注することができる。

【0 1 0 5】

この受発注管理者端末 5 では、受発注管理者が各作業員の作業状況に応じてデザイン注文の作業員へのデザイン振り分けを行なってもよく、またソフトによって自動的に行なってもよく、受発注管理者は、個々のデザインの作業員の作業状況を把握していなくても、デザイン注文を最適な作業員へ発注することができる。

【0 1 0 6】

また、受発注管理者が各作業員のスキルに応じてデザイン注文の作業員へのデザイン振り分けを行なってもよく、またソフトによって自動的に行なってもよく、受発注管理者は、個々のデザインの作業員のスキルを把握していなくても、デザイン注文を最適な作業員へ発注することができる。

【0 1 0 7】

また、受発注管理者が、各作業員の作業状況とスキルに基づいてデザイン注文

の作業者へのデザイン振り分けを行なっても、またソフトによって自動的に行なってもよく、デザイン注文を最適な作業者へ発注することができる。

【0108】

また、受発注管理者が、デザイン注文の種類及び／または難易度に基づいてデザイン注文の作業者へのデザイン振り分けを行なっても、またソフトによって自動的に行なってもよく、デザイン注文毎に最適な作業者へ発注することができる。

【0109】

また、受発注管理者端末 5 は、図 1 4 の受発注管理者画面を有し、この受発注管理者画面 6 0 では、注文番号切替ボタン 6 0 a、注文情報ボタン 6 0 b、写真原稿ボタン 6 0 c、写真原稿点検ボタン 6 0 d、成果物ボタン 6 0 e、校正ボタン 6 0 f、メールボタン 6 0 g 及び表示画面 6 0 h が設けられている。

【0110】

注文番号切替ボタン 6 0 a の切替アップまたはダウンで注文番号の切替を行なう。注文情報ボタン 6 0 b の操作で注文番号で特定されたデザイン注文の情報が表示画面 6 0 h に表示される。また、写真原稿ボタン 6 0 c の操作で表示画面 6 0 h にデザインに用いる画像が表示される。

【0111】

写真原稿点検ボタン 6 0 d の操作で、ユーザ（顧客）から配信されるデザインに使用する写真画像の状態の点検や肖像権、公序良俗等の問題が生じないように点検することもできる。

【0112】

このデザインに使用する写真画像の状態の点検は、図 1 4 に示すように、所定のデザインに使用する画像 5 3 d をクリックすることで画素数を表示してデザインに適する画素数を有するか否か確認する。この画素数の確認は、判別基準画素数を表示して目視で行なってもよく、あるいは確認ソフトで自動的に行ない、その判断結果を表示するようにしてもよい。

【0113】

また、肖像権の点検は、目視によって行なってもよく、あるいは顔判定ソフト

で行なってもよい。公序良俗の点検は、猥褻画像、差別言葉等によって行なう。

【0114】

成果物ボタン60eは、デザイン注文の発注前はblankになっており、デザイン注文の発注が行なわれると、成果物ボタン60eが表示される。この成果物ボタン60eの操作で作成したデザインを表示画面60hに表示して確認することができる。

【0115】

校正ボタン60fの操作で表示画面60hに表示されたデザイナー等が作成したデザインの仕上がりがユーザ（顧客）のデザイン注文の希望通りになっているか確認して文字間違いや画像修正等の校正可能であり、作成したデザインを校正することで、文字間違いの防止、デザイン品質の向上が可能である。

【0116】

メールボタン60gの操作でメール画面を開き、デザイン注文を受注するとデザイナー等の作業員へメールを行ない、デザイン注文を受注することができないとユーザへメールを送る。また、メールボタン60gの操作でデザイン作成が完了すると、ユーザへデザイン作成完了のメールを送る。

【0117】

次に、図15及び図16に基づいて、ユーザ端末3で行なうプリント注文の実施の形態について説明する。

【0118】

ユーザ端末3で作成されたデザインのプリント注文を行なう。例えば、受け取り方法を郵送にした場合、図15の画面90においてプリントの配送先のデータとして名前、郵便番号、住所、電話番号、支払方法を欄91～95に入力するが、これらの欄91～94の入力データは、例えばダウンロードしたデータで自動的に入力される。この場合、配送先の情報を変更することも可能となっている。

【0119】

図14の画面90の「次へ」のボタン96をクリックすると、図16のような注文内容の確認画面100が表示される。ユーザは欄101に表示された注文内容で注文情報を確認し、また欄102の配送先の内容でその情報を確認してから

、注文送信のボタン 1 0 4 をクリックすると、ユーザの認証のための小画面 1 0 3 が表示されるので、その欄 1 0 6 に登録したパスワードを入力してから、「OK」ボタン 1 0 7 をクリックすると、ダウンロードした DES で暗号化された会員パスワードと小画面 1 0 3 の欄 1 0 6 に入力されたパスワードとを比較し同じであれば、会員 ID、配送先を含む注文情報がネットワーク 1 を介して受発注サーバ 2 に送信される。この場合、図 1 5 の画面 1 0 0 で注文情報や配送先情報に誤り等を発見したら、「もどる」のボタン 1 0 5 をクリックしてもとの画面 9 0 等に戻り修正できる。

【0 1 2 0】

この画面 1 0 0 には、アンケート欄 1 2 0 が設けられており、受発注管理者は、個々のデザインの作業者のスキルをユーザの判断を考慮して確認でき、容易にデザイン注文内容に応じた作業者へ発注することができる。

【0 1 2 1】

このように、ユーザ端末 3 でデザイン決定情報を入力し、デザインに用いる画像を配信してデザイン注文を行ない、受発注管理者端末 5 では受発注サーバ 2 を介してデザイン注文の受付、デザイン注文に基づきデザイン作成作業の発注及び受発注管理を行ない、作業者端末 4 ではデザイン作成作業の発注に基づきデザイン作成を行なうが、図 1 7 及び図 1 8 に示すように、受発注サーバ 2 を介してユーザ端末 3 と、受発注管理者端末 5 と、作業者端末 4 との間で e メールを発行して指示や確認等の連絡を行なう。

【0 1 2 2】

図 1 7 は eメールの種類と発行タイミングを示す図である。この実施の形態では、受発注サーバ 2 を介してユーザ端末 3 と、受発注管理者端末 5 と、作業者端末 4 との間で eメールを発行する。この eメールには、ユーザ端末 3 からのデザイン注文を受発注サーバ 2 が受信してデザイン作業を振分けるデザイン振分通知①、受発注管理者がデザイン作業の振分けに基づき作業者へ依頼するデザイン作業依頼②、作業者が作成したデザインの校正を受発注管理者へ通知するデザイン校正通知③、受発注管理者がデザインの修正を作業者へ依頼するデザイン修正依頼④、受発注管理者からのデザイン注文を行なったユーザへのデザイン完

了通知⑤、ユーザが作成されたデザインを確認して修正したい場合に行なう受発注管理者、作業者へのユーザの修正依頼⑥、ユーザが作成されたデザインを確認して修正がない場合に行なうユーザの確認通知⑦等がある。

【0 1 2 3】

これらの発行 e メールは、受発注サーバ 2 で e メールタイトルを作成して発行される。この e メールタイトルには、進捗管理情報、注文番号、ユーザ名、作業完了日時を付けるようになっている。

【0 1 2 4】

進捗管理情報としては、例えば [デザイン振分通知]、[デザイン作業依頼]、[デザイン校正通知]、[デザイン修正依頼]、[デザイン完了通知]、[ユーザの修正依頼]、[ユーザの確認通知] 等とし、文字数は同数とすれば e メール管理画面に表示する場合に見やすい。

【0 1 2 5】

注文番号としては、例えば [d c 0 0 0 o i 0 2 1 1 1 2 0 0 2] 等とする。

【0 1 2 6】

ユーザ名としては、例えば [コニカ太郎]、[コニカ次郎] 等とし、ユーザの氏名を付ける。

【0 1 2 7】

作業完了日時として、例えば [2 0 0 2 / 1 1 / 1 8 0 5 : 4 6 : 1 1]、[2 0 0 2 / 1 1 / 1 2 1 6 : 5 1 : 1 9] 等とする。

【0 1 2 8】

図 1 8 は eメールの発行とユーザ端末、受発注管理者端末及び作業者端末の eメール管理画面を示す図である。この実施の形態では、ユーザ、受発注管理者、作業者が、それぞれユーザ端末 3、受発注管理者端末 5、作業者端末 4 で受発注サーバ 2 へログインし、受発注サーバ 2 で eメールを作成し、必要なユーザ、受発注管理者、作業者へ必要な指示、確認等の eメールを発行する。

【0 1 2 9】

受発注管理者端末 5 にはメール発行画面 8 5 が設けられ、作業者端末 4 にはメール発行画面 8 6 が設けられ、ユーザ端末 3 にはメール発行画面 8 7 が設けられ

、それぞれの送信先と、eメールタイトルに記入してeメールを発行する。
eメールタイトルは、『[] - [] - [] - []』に指定された進捗管理情報、注文番号、ユーザ名、作業完了日時を指定して記入するようになっている。

【0130】

受発注管理者端末5は、eメール管理画面80を有している。このeメール管理画面80は、図19に示すように、eメールの送信日時80a、差し出し人80b、eメールタイトル80cが表示される。

【0131】

このeメール管理画面80には、デザイン振分通知①、デザイン校正通知③、ユーザの修正依頼⑥及びユーザの確認通知⑦が表示される。デザイン振分通知①のeメールタイトル80cは、例えば「[デザイン振分通知] - [dc000oi021112002] - [コニカ太郎] - [2002/11/18 05:46:11]」として、進捗管理情報、注文番号、ユーザ名、作業完了日時を順に付ける。

【0132】

また、デザイン校正通知③のeメールタイトル80cは、例えば「[デザイン校正通知] - [dc000oi021112002] - [コニカ太郎] - [2002/11/18 05:46:11]」として、進捗管理情報、注文番号、ユーザ名、作業完了日時を順に付ける。

【0133】

また、ユーザの修正依頼⑥のeメールタイトル80cは、例えば「[ユーザの修正依頼] - [dc000oi021112002] - [コニカ太郎] - [2002/11/18 05:46:11]」として、進捗管理情報、注文番号、ユーザ名、作業完了日時を順に付ける。

【0134】

また、ユーザの確認通知⑦のeメールタイトル80cは、例えば「[ユーザの確認通知] - [dc000oi021112002] - [コニカ太郎] - [2002/11/18 05:46:11]」として、進捗管理情報、注文番号、ユー

ザ名、作業完了日時を順に付ける。

【0135】

作業者端末4は、eメール管理画面81を有している。このeメール管理画面81は、図20に示すように、eメールの送信日時81a、差し出し人81b、eメールタイトル81cが表示される。

【0136】

このeメール管理画面81には、デザイン作業依頼②、デザイン修正依頼④、ユーザの修正依頼⑥及びユーザの確認通知⑦が表示される。

【0137】

デザイン作業依頼②のeメールタイトル81cは、例えば [dc000oi021112002] - [2002/11/18 05:46:11] - [デザイン作業依頼] - [コニカ太郎] として、注文番号、作業完了日時、進捗管理情報、ユーザ名を順に付ける。

【0138】

また、デザイン修正依頼④のeメールタイトル81cは、例えば [dc000oi021112002] - [2002/11/18 05:46:11] - [デザイン修正依頼] - [コニカ太郎] として、注文番号、作業完了日時、進捗管理情報、ユーザ名を順に付ける。

【0139】

また、ユーザの修正依頼⑥のeメールタイトル81cは、例えば [dc000oi021112002] - [2002/11/18 05:46:11] - [ユーザの修正依頼] - [コニカ太郎] として、注文番号、作業完了日時、進捗管理情報、ユーザ名を順に付ける。

【0140】

また、ユーザの確認通知⑦のeメールタイトル81cは、例えば [dc000oi021112002] - [2002/11/18 05:46:11] - [ユーザの確認通知] - [コニカ太郎] として、注文番号、作業完了日時、進捗管理情報、ユーザ名を順に付ける。

【0141】

ユーザ端末 3 は、e メール管理画面 82 を有している。この e メール管理画面 82 は、図 21 に示すように、eメールの送信日時 82 a、差し出し人 82 b、e メールタイトル 82 c が表示される。

【0142】

この e メール管理画面 82 には、デザイン完了通知⑤が表示される。デザイン完了通知⑤の e メールタイトル 82 c は、例えば [デザイン完了通知] - [dc000oi021112002] - [コニカ太郎] - [2002/11/18 05:46:11] として、進捗管理情報、注文番号、ユーザ名、作業完了日時を順に付ける。

【0143】

このように、受発注サーバ 2 を介してユーザ端末 3 と、受発注管理者端末 5 と、作業者端末 4 との間で e メールを発行するが、この発行 eメールの e メールタイトルに少なくとも進捗管理情報と注文番号とを付けることで、一見して e メールタイトルから送信内容の概略を理解することが可能で、e メールタイトルからデザインの受発注管理を容易に行なうことができる。

【0144】

さらに、e メールタイトルに、進捗管理情報と注文番号に加えて、ユーザ名、作業完了日時とを付けることで、一見して e メールタイトルから送信内容の概略をより一層理解することが可能である。作業完了日時は、受発注サーバ 2 の時計機能により発生する。作業完了日時は、人為的に操作できないことにすることで安全に運用できる。受発注サーバ 2 の時計とすることで、整合性がとれ、複数の時計を参照すると時間順で整合がとれない。

【0145】

ユーザ端末 3 の e メール管理画面 82、受発注管理者端末 5 の e メール管理画面 80 では、進捗管理情報を先頭にして e メールタイトルを表示することで、ユーザ、受発注管理者が進捗管理情報の表示から進捗状況を容易に把握できる。

【0146】

また、作業者端末 4 の e メール管理画面 81 では、注文番号を先頭にして e

メールアドレスを表示することで、作業者が進捗管理情報の表示から進捗状況を容易に把握できる。

【0147】

この実施の形態では、受発注管理者が受発注管理者端末5からeメールを発行時、送信先が作業者端末4の場合は、注文番号を先頭にしたeメールタイトルで送信する。例えば、[dc000oi021112002] - [2002/11/18 05:46:11] - [デザイン修正依頼] - [コニカ太郎] として、このeメールタイトルが作業者端末4のeメール管理画面81で表示される。このように、eメール発行時に、送信先が作業者端末4の場合は、注文番号を先頭にしたeメールタイトルで送信することで、受信した作業者が注文番号から進捗状況を容易に把握でき、作業者側での管理が容易になる。

【0148】

また、作業者が作業者端末4からeメールを発行時、送信先が受発注管理者端末5の場合は、進捗管理情報を先頭にしたeメールタイトルで送信する。例えば、[デザイン校正通知] - [dc000oi021112002] - コニカ太郎 - [2002/11/18 05:46:11] として、このeメールタイトルが受発注管理者端末5のeメール管理画面80で表示される。このように、eメール発行時に、送信先が受発注管理者端末5の場合は、進捗管理情報を先頭にしたeメールタイトルで送信することで、受信した受発注管理者が進捗管理情報から進捗状況を容易に把握でき、受発注管理者側での管理が容易になる。

【0149】

また、受発注管理者が受発注管理者端末5からeメールを発行時、送信先がユーザ端末3の場合は、進捗管理情報を先頭にしたeメールタイトルで送信する。例えば、[デザイン完了通知] - [dc000oi021112002] - コニカ太郎 - [2002/11/18 05:46:11] として、このeメールタイトルがユーザ端末3のeメール管理画面82で表示される。このように、eメール発行時に、送信先がユーザ端末3の場合は、進捗管理情報を先頭にしたeメールタイトルで送信することで、受信したユーザが進捗管理情報

から進捗状況を容易に把握でき、ユーザ側での管理が容易になる。

【0150】

また、図18に示すように、受発注管理者端末5のメール発行画面85には、選択ボタン85aが設けられ、この選択ボタン85aの操作で、様、御中などを選択し、送信先の敬語を付ける。この信先に敬語を付けることで、ユーザへの親切かつ良好な印象を与えるeメールタイトルとなる。

【0151】

また、例えばユーザ端末3が携帯情報端末(PDA)、携帯電話等の場合、進捗管理情報が、記号であってもよく、特に表示部の容量が制限される携帯端末へのeメールタイトルとなる。

【0152】

また、ユーザ端末3と、受発注管理者端末5と、作業者端末4では、[・・・]の発行eメールに対して、Re：[・・・]のような発行eメールに対する返信eメールを受信すると、警告eメールを発信端末に送信し、規格にあったeメールのみ受信するようにして、eメールタイトルの管理を行なうことができるようにすることができる。

【0153】

また、ユーザ端末3と、受発注管理者端末5と、作業者端末4では、発行eメールに対する返信eメールに添付ファイルがあると、警告eメールを発信端末に送信することで、同様に規格にあったeメールのみ受信してeメールタイトルの管理を行なうことができる。

【0154】

【発明の効果】

前記したように、請求項1及び請求項14に記載の発明では、受発注サーバを介してユーザ端末と、受発注管理者端末と、作業者端末との間でeメールを発行するが、この発行eメールのeメールタイトルに少なくとも進捗管理情報と注文番号とを付けることで、一見してeメールタイトルから送信内容の概略を理解することが可能で、eメールタイトルからデザインの受発注管理を容易に行なうことができる。

【0155】

請求項 2 及び請求項 15 に記載の発明では、e メールタイトルに、進捗管理情報と注文番号に加えて、ユーザ名、作業完了日時とを付けることで、一見して e メールタイトルから送信内容の概略をより一層理解することが可能で、e メールタイトルからデザインの受発注管理を容易に行なうことができる。

【0156】

請求項 3 及び請求項 16 に記載の発明では、作業完了日時は、人為的に操作できないことにすることで安全に運用できる。受発注サーバの時計とすることで、整合性がとれ、複数の時計を参照すると時間順で整合がとれない。

【0157】

請求項 4 及び請求項 17 に記載の発明では、e メール管理画面では、進捗管理情報を先頭にして e メールタイトルを表示することで、受発注管理者が進捗管理情報の表示から進捗状況を容易に把握できる。

【0158】

請求項 5 及び請求項 18 に記載の発明では、e メール管理画面では、注文番号を先頭にして e メールタイトルを表示することで、作業者が注文番号の表示から進捗状況を容易に把握できる。

【0159】

請求項 6 及び請求項 19 に記載の発明では、e メール管理画面では、進捗管理情報を先頭にして e メールタイトルを表示することで、ユーザが進捗管理情報の表示から進捗状況を容易に把握できる。

【0160】

請求項 7 及び請求項 20 に記載の発明では、e メール発行時に、送信先が作業端末の場合は、注文番号を先頭にした e メールタイトルで送信することで、受信した作業者が注文番号から進捗状況を容易に把握でき、作業側での管理が容易になる。

【0161】

請求項 8 及び請求項 21 に記載の発明では、e メール発行時に、送信先が受発注管理者端末の場合は、進捗管理情報を先頭にした e メールタイトルで送信

することで、受信した受発注管理者が進捗管理情報から進捗状況を容易に把握でき、受発注管理者側での管理が容易になる。

【0 1 6 2】

請求項 9 及び請求項 2 2 に記載の発明では、e メール発行時に、送信先がユーザ端末の場合は、進捗管理情報を先頭にした e メールタイトルで送信することで、受信したユーザが進捗管理情報から進捗状況を容易に把握でき、ユーザ側での管理が容易になる。

【0 1 6 3】

請求項 1 0 及び請求項 2 3 に記載の発明では、ユーザ端末への e メールタイトルには、送信先の敬語を付けることで、ユーザへの親切かつ良好な印象を与える e メールタイトルとなる。

【0 1 6 4】

請求項 1 1 及び請求項 2 4 に記載の発明では、進捗管理情報が、記号であることで、特に表示部の容量が制限される携帯端末への e メールタイトルとなる。

【0 1 6 5】

請求項 1 2 及び請求項 2 5 に記載の発明では、発行 e メールに対する返信 e メールを受信すると、警告 e メールを発信端末に送信することで、規格にあった e メールのみ受信して e メールタイトルの管理を行なうことができる。

【0 1 6 6】

請求項 1 3 及び請求項 2 6 に記載の発明では、発行 e メールに対する返信 e メールに添付ファイルがあると、警告 e メールを発信端末に送信することで、規格にあった e メールのみ受信して e メールタイトルの管理を行なうことができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

受発注システムを示す図である。

【図 2】

受発注方法を実行するフローチャートである。

【図 3】

ユーザ端末側、受発注管理者端末側、作業者端末側、受発注サーバ側間の情報の授受を示す図である。

【図 4】

ユーザ端末のデザイン選択画面を示す図である。

【図 5】

ユーザ端末の注文情報入力画面を示す図である。

【図 6】

ユーザ端末のデザイン決定画面を示す図である。

【図 7】

ユーザ端末の画像のアップロード画面を示す図である。

【図 8】

ユーザ端末のデザインの見積もりと確認画面を示す図である。

【図 9】

受発注管理者端末の受発注管理のメニュー画面を示す図である。

【図 1 0】

受発注管理者端末のデザイン振り分け画面を示す図である。

【図 1 1】

受発注管理者端末の注文詳細情報画面を示す図である。

【図 1 2】

受発注管理者端末の注文詳細情報画面を示す図である。

【図 1 3】

スキル評価画面を示す図である。

【図 1 4】

受発注管理者端末の受発注管理者画面を示す図である。

【図 1 5】

ユーザ端末のデザインのプリント注文受取指示画面を示す図である。

【図 1 6】

ユーザ端末のデザインのプリント注文内容画面を示す図である。

【図 1 7】

eメールの種類と発行タイミングを示す図である。

【図 1 8】

eメールの発行とユーザ端末、受発注管理者端末及び作業者端末のeメール管理画面を示す図である。

【図 1 9】

受発注管理者端末のeメール管理画面を示す図である。

【図 2 0】

作業者端末のeメール管理画面を示す図である。

【図 2 1】

ユーザ端末のeメール管理画面を示す図である。

【図 2 2】

従来の受発注管理者端末のeメール管理画面を示す図である。

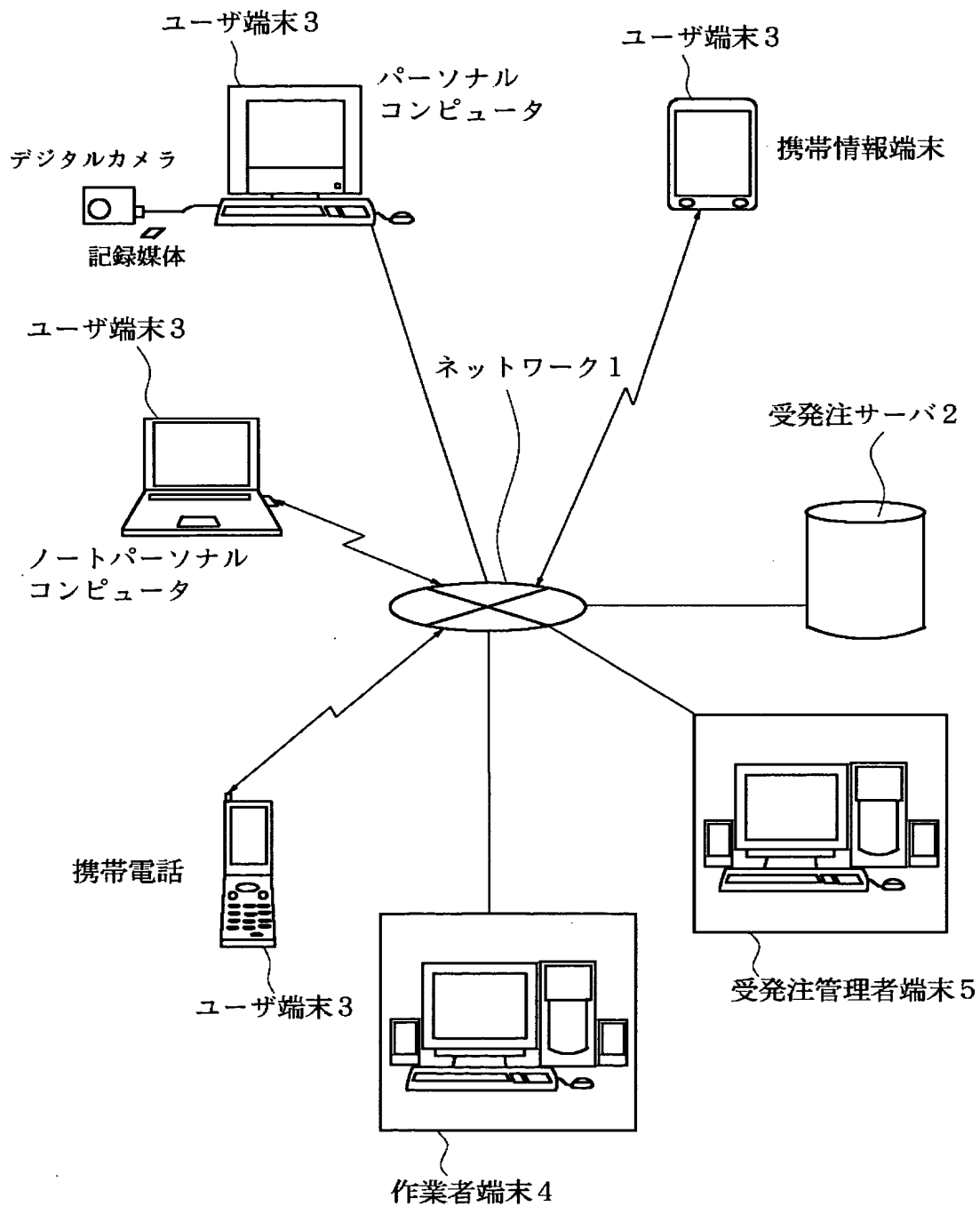
【符号の説明】

- 1 ネットワーク
- 2 受発注サーバ
- 3 ユーザ端末
- 4 作業者端末
- 5 受発注管理者端末
- 8 0 受発注管理者端末のeメール管理画面
- 8 1 作業者端末のeメール管理画面
- 8 2 ユーザ端末のeメール管理画面
- 8 5 受発注管理者端末のメール発行画面
- 8 6 作業者端末のメール発行画面
- 8 7 ユーザ端末のメール発行画面

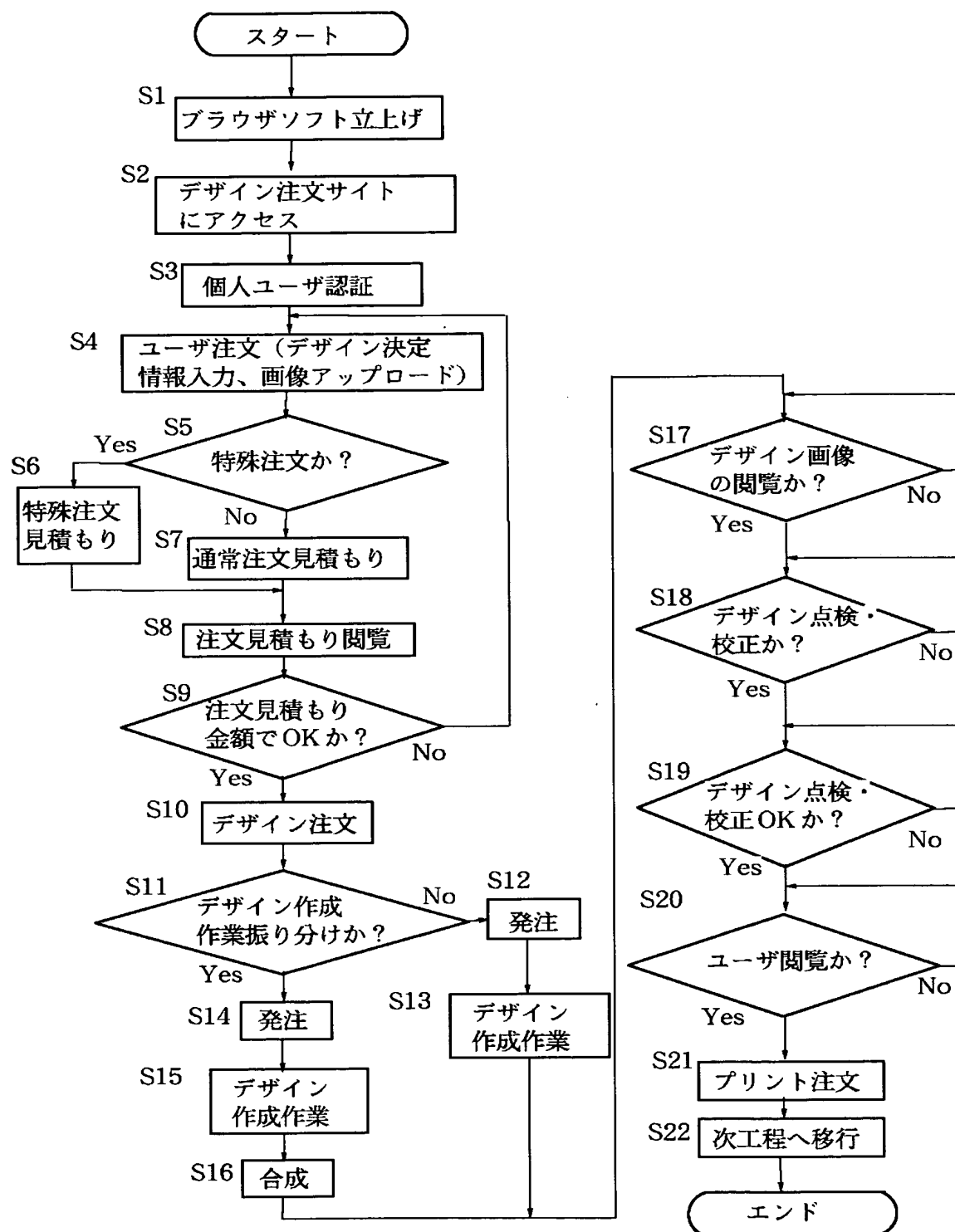
【書類名】

図面

【図 1】

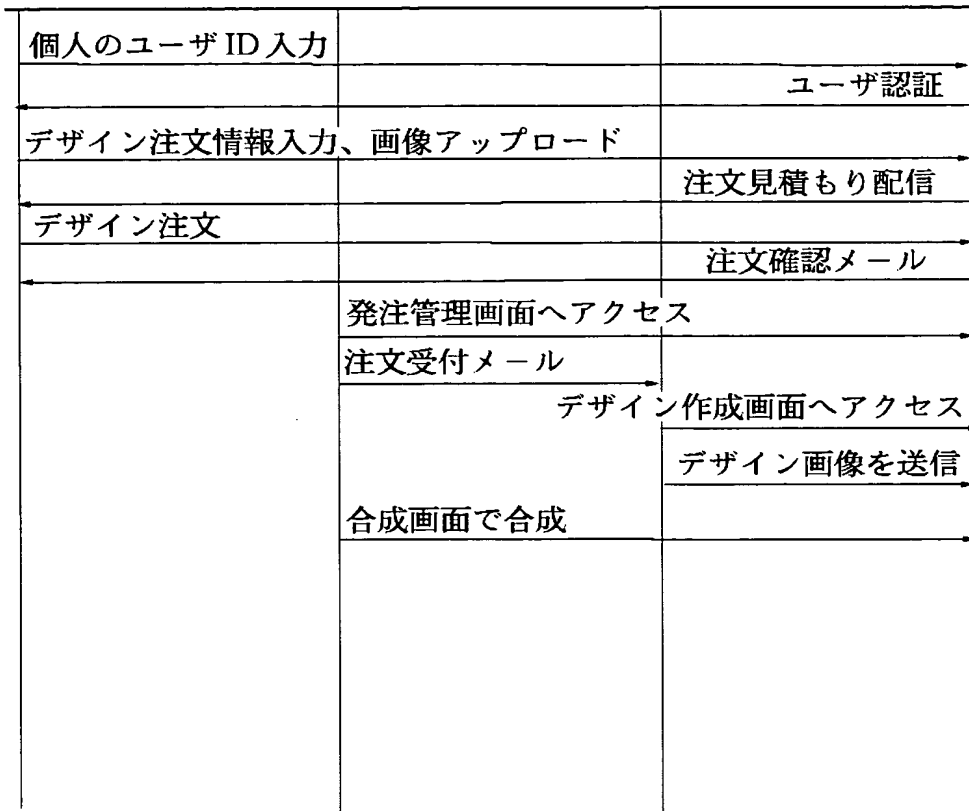


【図 2】

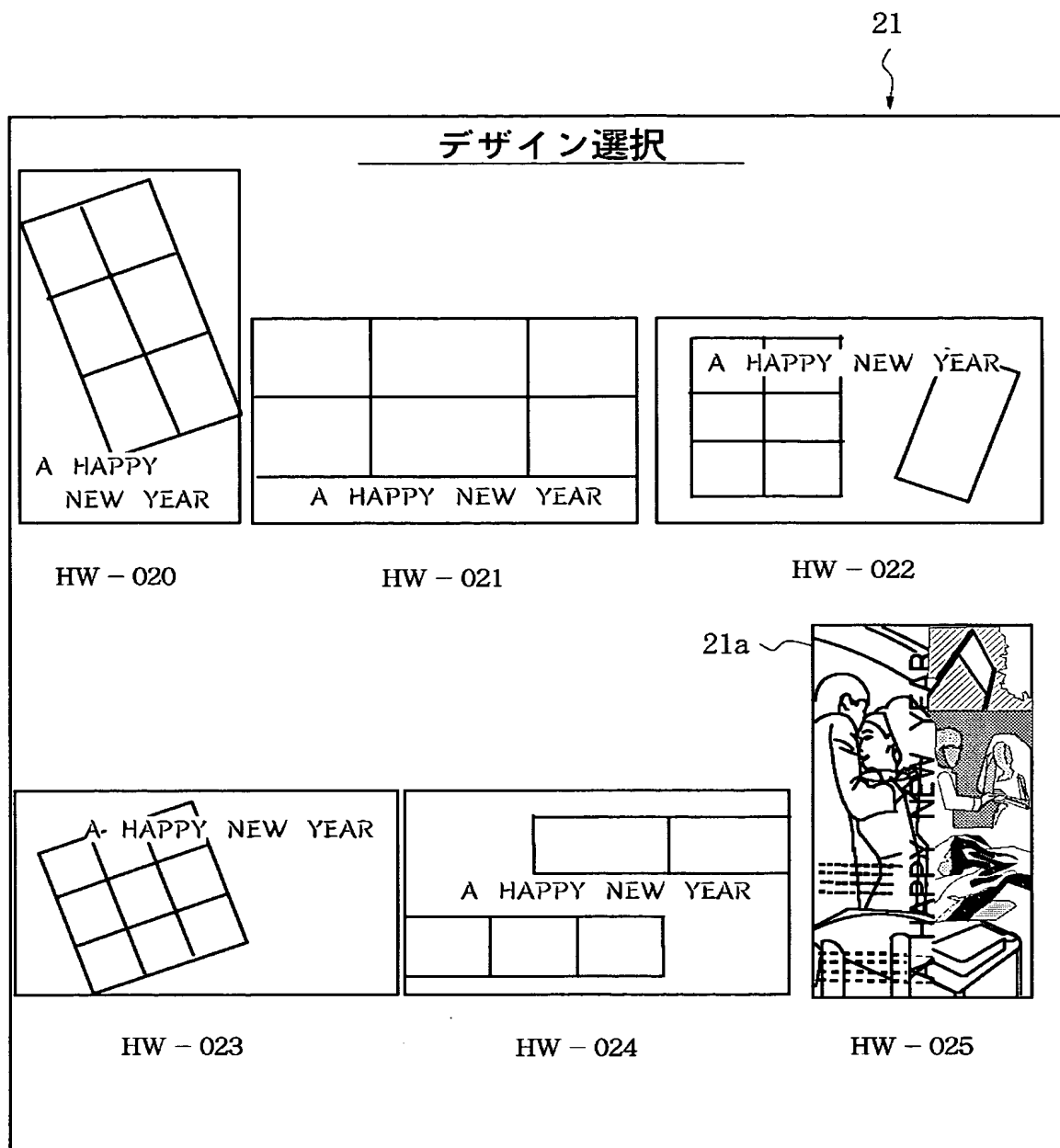


【図 3】

ユーザ端末3 受発注管理者端末5 作業者端末4 受発注サーバ2



【図 4】

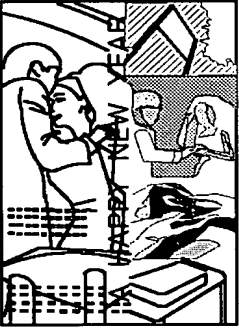


【図 5】

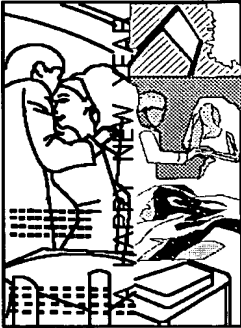
22

注文情報入力

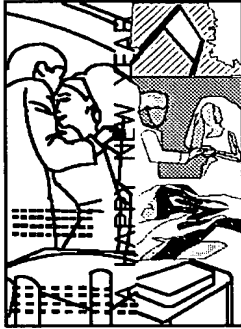
カラー ← 22a



カラー



モノクロ



セピア

タイトル&フォント ← 22b

1. 私たち結婚しました

2. Just Married

コメント ← 22c

1.

2.

3.

4.

5.

6.

7. オリジナルコメント

デザイン面に記載する個人情報 ← 22d

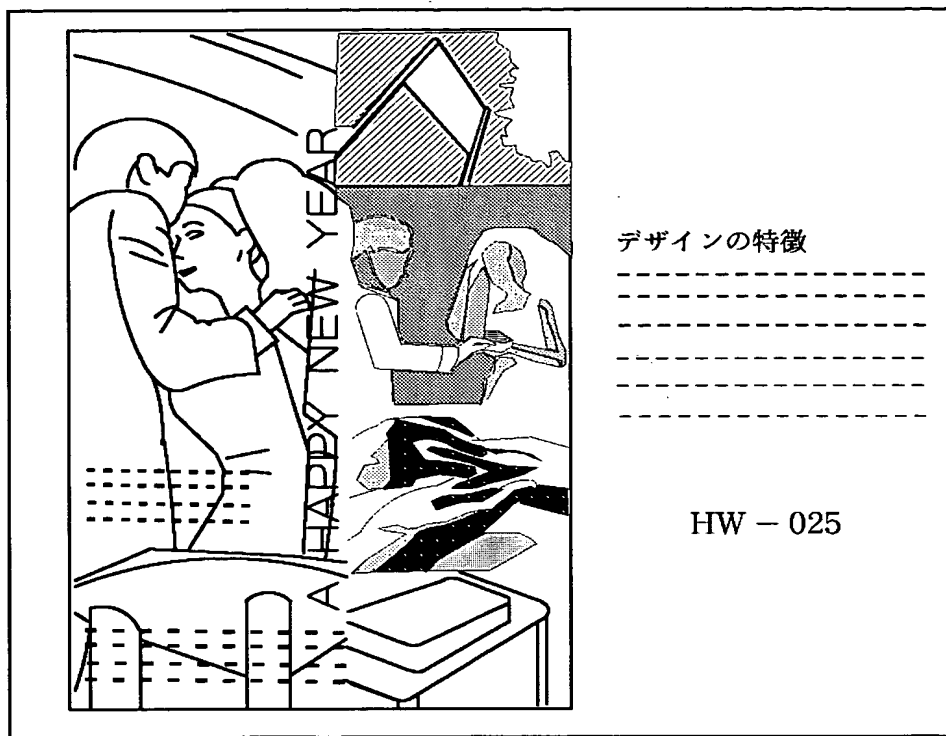
○○ ○○
 123 - 4567
 □□□□□□□□□□ 87 - 90
 03 - 1234 - 5678
 03 - 1234 - 5678

▲

▼

【図 6】

26



【図 7】

30

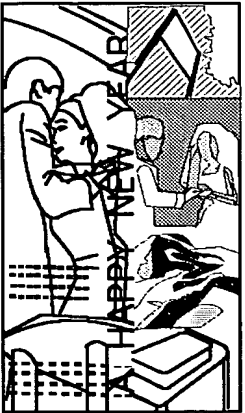

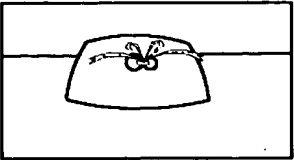

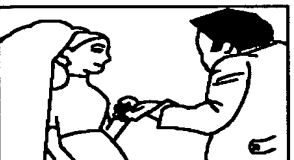
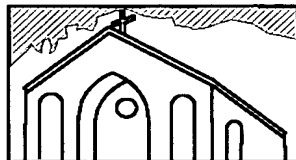
画像のアップロード

【画像アップロードで申し込む方】

画像 1.	30b	参照... 30a
画像 2.		参照...
画像 3.		参照...
画像 4.		参照...
画像 5.		参照...

【図 8】

40

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">デザイン</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; height: 150px; position: relative;">  <div style="position: absolute; bottom: 10px; left: 10px;">41</div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">選択画像</div> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <div style="position: absolute; right: 10px; top: 50%; transform: translateY(-50%);">42</div> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> </div>						
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 200px;">印字内容</div> <div style="margin-top: 5px;">コメント</div> <div style="margin-top: 10px;"> <div style="border-bottom: 1px dashed black; width: 100%; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; width: 100%; height: 15px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; width: 100%; height: 15px;"></div> </div>							
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 45%;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> デザイン面に記載する 個人情報 </div> </div> <div style="width: 50%;"> <div style="margin-bottom: 5px;">○○ ○○</div> <div style="margin-bottom: 5px;">123 - 4567</div> <div style="margin-bottom: 5px;">□□□□□□□□□□87 - 90</div> <div style="margin-bottom: 5px;">03 - 1234 - 5678</div> <div style="margin-bottom: 5px;">03 - 1234 - 5678</div> </div> </div>							
<div style="margin-bottom: 10px;">44</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">ご注文料金</div> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">デザイン料</td> <td style="text-align: right;">3000 円</td> </tr> <tr> <td>消費税</td> <td style="text-align: right;">150 円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">3150 円</td> </tr> </table>	デザイン料	3000 円	消費税	150 円	合計	3150 円	<div style="margin-bottom: 10px; text-align: right;">45</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">デザイン完成予定日</div> <p>1 週間前後 * 修正が発生した場合は納期が延長されます。</p>
デザイン料	3000 円						
消費税	150 円						
合計	3150 円						

【図 9】

50a

50

デザイン進行状況確認

受付日時 (新しい順) で 並べ替え

注文 No. に 含む 検索

受付日時	注文 No.	デザイン依頼日
2002/11/08 17:34:58	0004	振り分け
2002/11/06 17:34:58	0004	振り分け
2002/11/05 17:34:58	0004	2002/11/07
2002/11/01 17:34:58	0001	振り分け
		50b

【図 10】

デザイン振り分け

■新規注文情報

注文No.	受付日時	枚数	カテゴリー	詳細	注文ID
0001	2002/11/01 17:34:58	11	f100	詳細	200201110004

■選択可能デザイナー一覧

作成中件数 で 並べ替え

デザイナー氏名 に 含む 検索

51d	51c1	51c2	51c3	51c4	51c5	51c6	51c7
選択	氏名	作成中 件数	修正中 件数	作成中修正中 合計件数	評価	平均修正 回数	詳細情報
	○○ ○○	0	0	0	bb	2	詳細情報
	◎◎ ◎	0	0	0	B	4	詳細情報
	△△ △△	0	0	0	AA	0	詳細情報

■デザインアップロード納期日時: 年 月 日 時

■管理者からデザイナーへ、このデザインに関するコメント

【図 11】

52

注文詳細情報

■注文情報

注文 No.	200201110004
注文 ID	
注文受付日時	
デザイン注文ステータス	

■デザイン情報 (画像)

52a

■お客様情報

お客様 ID	
氏名	
住所	
電話番号	
FAX 番号	
e-mail	

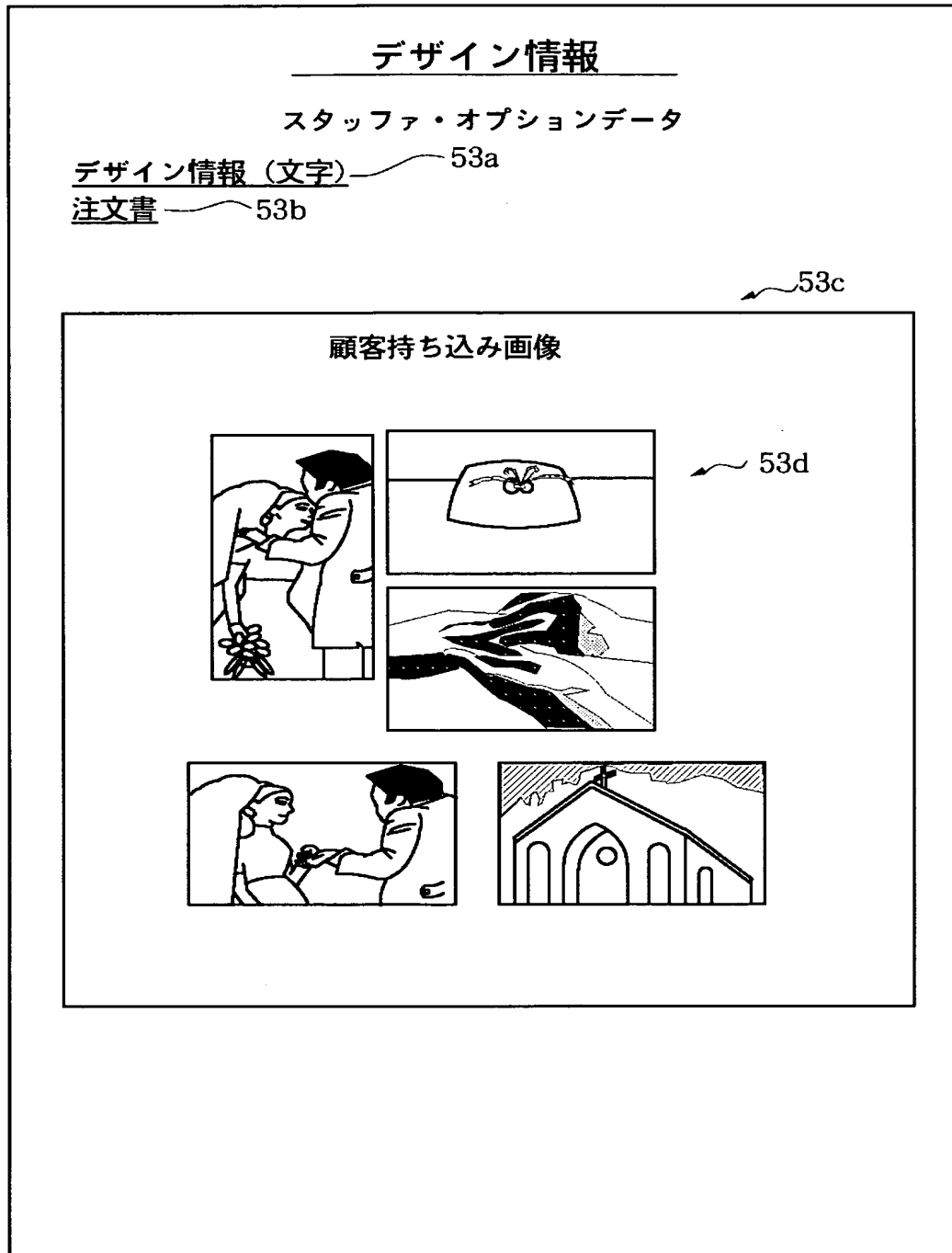
■コメント (注文登録時)

■プリント注文に関して

プリント注文します ▼

【図 12】

53



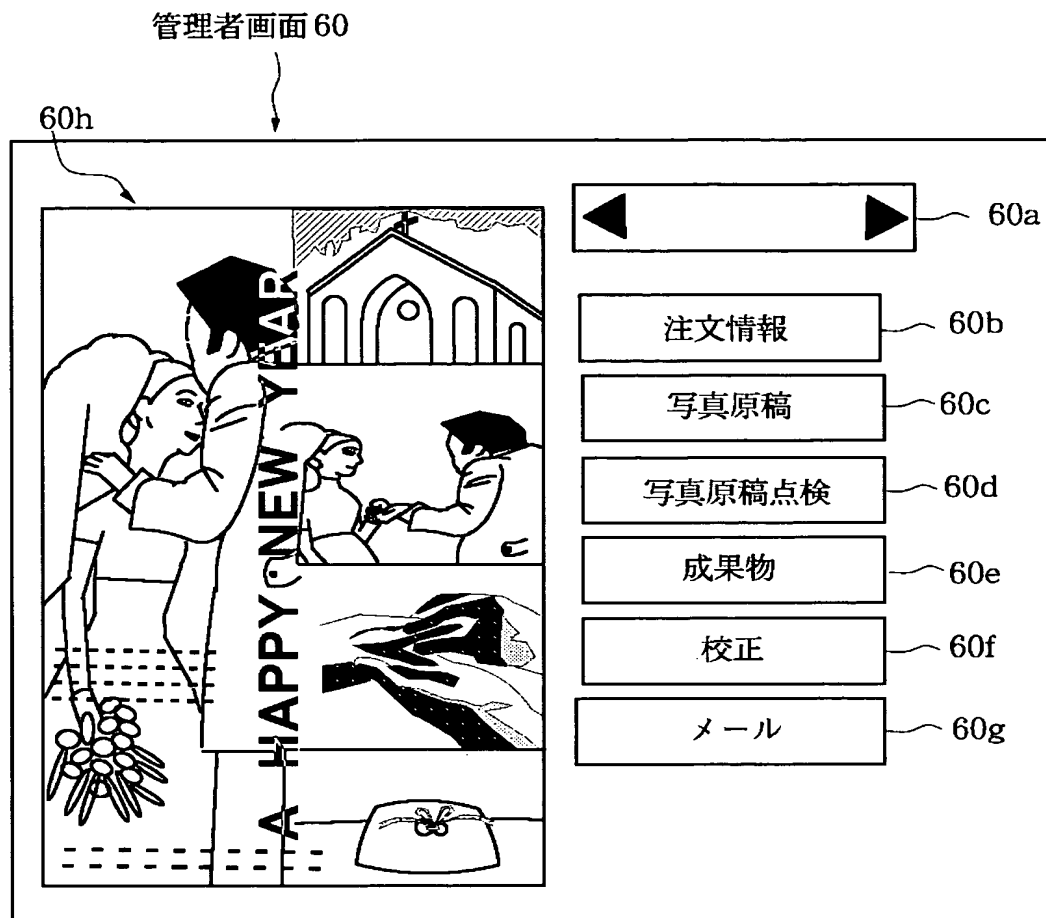
【図 13】

70

デザイナー: ◎◎ ◎

デザイナー評価項目	評価	設定方法
作業状況 (作成中)	○	自動
(修正中)		自動
平均納期	2 日	自動
修正回数 (管理者)	2 回	自動
修正回数 (ユーザ)	1 回	自動
修正内容 (修正箇所の統計)	赤目修正	自動
1 デザイン当たり平均修正回数	1 回	自動
納期遅延回数	3 回	自動
デザイン評価	B	評価者設定
デザイン技術者自己評価 (得意分野)	不要物除去	評価者設定

【図 14】



【図 15】

90

お客様の配送先を入力して、
「次へ」ボタンをクリックして下さい。

●配送先の入力

1. お受け取りになる方のお名前を入力して下さい。

お名前 91

2. 配送先の郵便番号を入力して下さい。

〒番号 92

3. 配送先のご住所を入力して下さい。

ご住所

93

4. お客様の電話番号を入力して下さい。

電話番号 94

お支払方法 ▼

95

96

【図 16】

注文内容、配送先をご確認下さい。
よろしければ、「注文送信」ボタンをクリックして下さい。

●ご注文内容

メニュー	サイズ	枚数	料金
技術料金			1200 円
配送料金 (代金引換)			800 円
ポストカード (写真)	はがきサイズ	10 枚	500 円
お年玉つき年	認証 <input checked="" type="checkbox"/>		500 円
消費税	お客様の会員 ID と パスワードを入力して下さい。		125 円
合計			3125 円

101

107

103

106

●配送先

102

お名前 小西 六郎

〒番号 128 - 4567

ご住所 東京都 日野市さくら町 1

TEL 03 - 1234 - 5678

仕上り予定日 今日から 7 日後以降

●デザイナー評価アンケート (AA、B、bb の 3 段階で選択して下さい)

B ▼

120

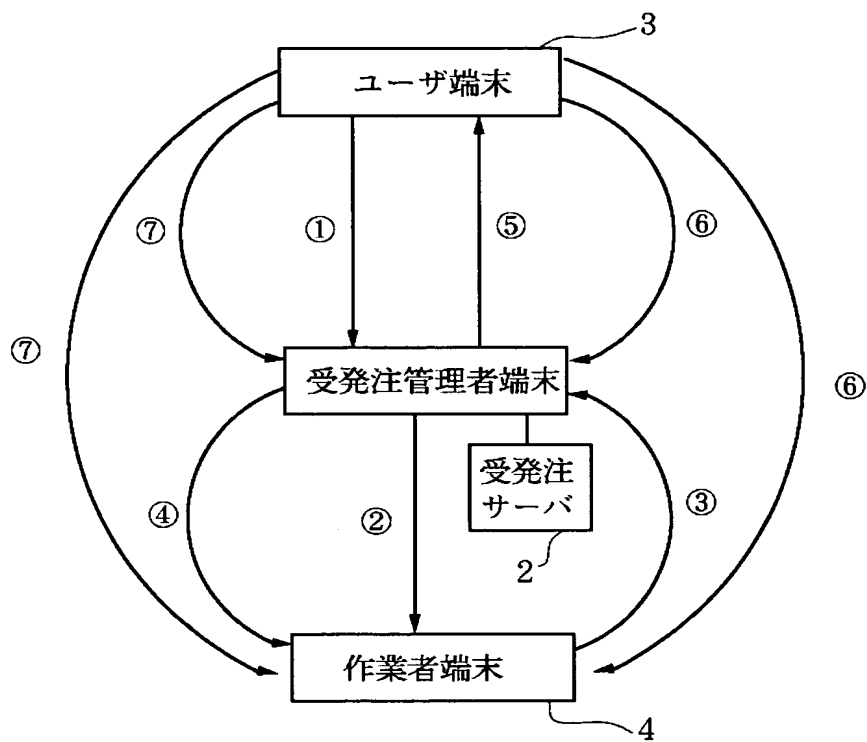
もどる 注文送信

105 104

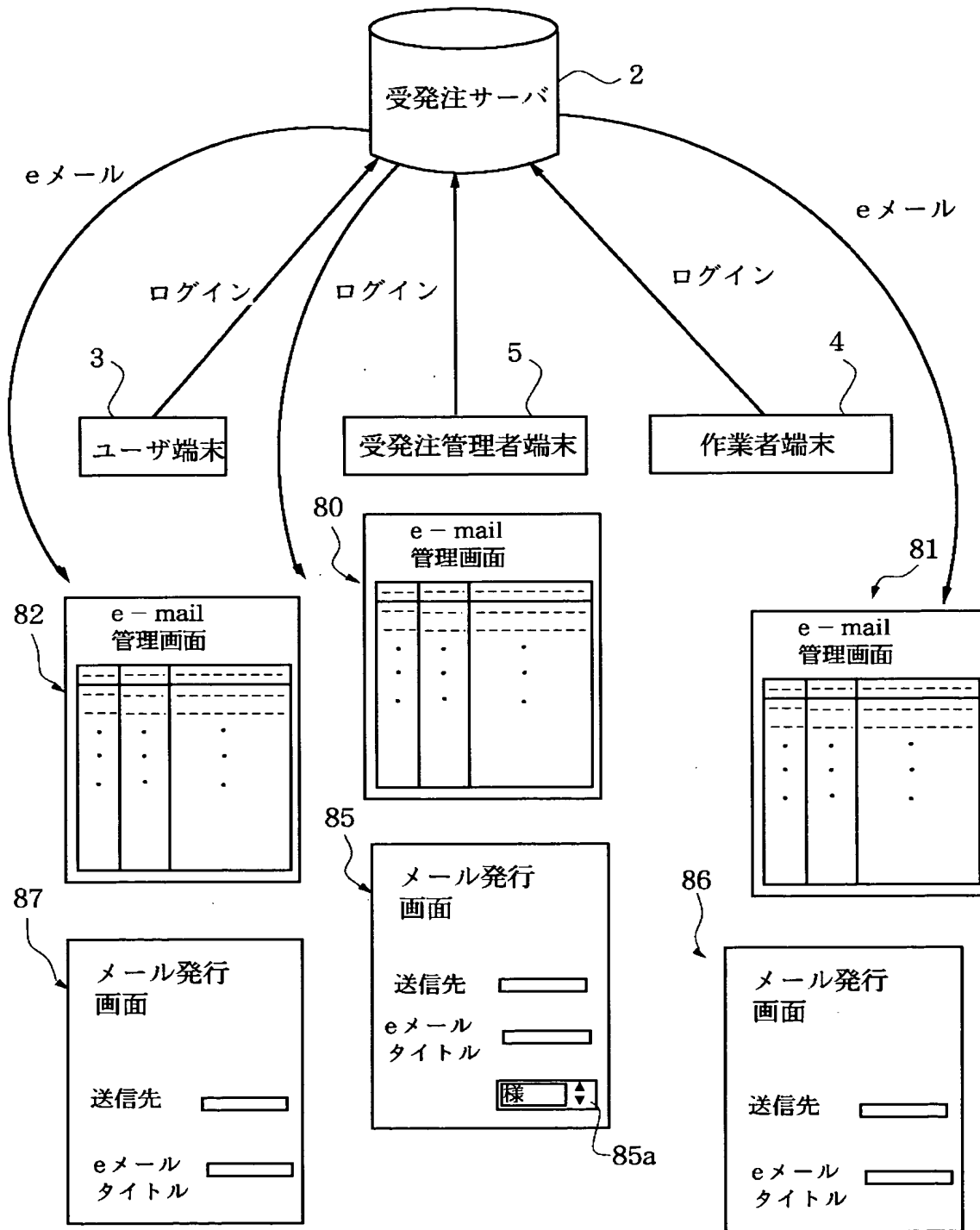
100

【図 17】

メール発行のタイミング



【図 18】



【図 19】

80

80a 送信日時	80b 差出人	80c eメールタイトル
10/10 13:29	コニカ太郎	[デザイン振分通知] - [dc0001oi0211102002] - [コニカ太郎] - [2002/11/18 05:46:11]
10/12 10:30	××デザイン事務所	[デザイン校正通知] - [dc0001oi0211102002] - [コニカ太郎] - [2002/11/18 05:46:11]
10/13 13:10	コニカ太郎	[ユーザの修正依頼] - [dc0001oi0211102002] - [コニカ太郎] - [2002/11/18 05:46:11]
10/13 18:24	コニカ太郎	[ユーザの確認通知] - [dc0001oi0211102002] - [コニカ太郎] - [2002/11/18 05:46:11]
●	●	●
●	●	●
●	●	●
●	●	●
●	●	●

【図 20】

81

81a 送信日時	81b 差出人	81c eメールタイトル
10/10 15:30	〇〇センター	[dc0001oi0211102002] - [2002/11/18 05:46:11] [デザイン作業依頼] - [コニカ太郎]
10/12 12:00	〇〇センター	[dc0001oi0211102002] - [2002/11/18 05:46:11] - [デザイン修正依頼] - [コニカ太郎]
10/13 13:10	コニカ太郎	[dc0001oi0211102002] - [2002/11/18 05:46:11] - [ユーザの修正依頼] - [コニカ太郎]
10/13 18:24	コニカ太郎	[dc0001oi0211102002] - [2002/11/18 05:46:11] - [ユーザの確認通知] - [コニカ太郎]
●	●	●
●	●	●
●	●	●
●	●	●
●	●	●

【図 2 1】

送信日時	差出人	eメールタイトル
<div>10/10 13:29</div> <div>●</div> <div>●</div> <div>●</div> <div>●</div> <div>●</div>	<div>〇〇センター</div> <div>●</div> <div>●</div> <div>●</div> <div>●</div> <div>●</div>	<div>[デザイン完了通知] - [dc0001oi0211102002] - [コニカ太郎] - [2002/11/18 05:46:11]</div> <div>●</div> <div>●</div> <div>●</div> <div>●</div> <div>●</div>

82

82a

82b

82c



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 eメールタイトルからデザインの受発注管理を容易に行なうことが可能である。

【解決手段】 受発注システムは、ネットワーク 1 と、ネットワーク 1 に接続され、デザイン決定情報を入力し、デザインに用いる画像を配信して前記デザイン注文を行なうユーザ端末 3 と、ネットワーク 1 に接続され、受発注サーバ 2 を介してデザイン注文の受付、前記デザイン注文に基づきデザイン作成作業の発注及び受発注管理を行なう受発注管理者端末 5 と、ネットワーク 1 に接続され、デザイン作成作業の発注に基づきデザイン作成を行なう作業者端末 4 と、を有し、受発注サーバ 2 を介してユーザ端末 3 と、受発注管理者端末 5 と、作業者端末 4 との間で eメールを発行し、この発行 eメールの eメールタイトルに少なくとも進捗管理情報と注文番号とを付ける。

【選択図】 図 17

特願 2003-119378

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [303000419]

1. 変更年月日 2002年12月20日
[変更理由] 新規登録
住 所 東京都新宿区西新宿1丁目26番2号
氏 名 コニカフォトイメージング株式会社
2. 変更年月日 2003年10月 1日
[変更理由] 名称変更
住 所 東京都新宿区西新宿1丁目26番2号
氏 名 コニカミノルタフォトイメージング株式会社